

## [2020/2021]九州大学附属図書館年報

<https://hdl.handle.net/2324/4482069>

---

出版情報：九州大学附属図書館年報. 2020/2021, pp.1-, 2021-07. Kyushu University Library  
バージョン：  
権利関係：

# KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2020/2021

九州大学附属図書館年報 2020/2021



# CONTENTS もくじ

Topics	3
展示会・講演会	7
国際化	9
講習会/Cute.Guides	10
新規コレクション・デジタルコンテンツ・ 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)	11
研究開発室	13
人材育成	14
統計	15
附属図書館の組織	21
人事異動	23
貴重資料の学外展示・掲載・放映	24
図書館日誌	25





附属図書館長  
久保 智之

## はじめに

九州大学附属図書館の5館のうち最大の、中央図書館(伊都キャンパス)は、平成30年10月にグランドオープンしました。しかし、それから1年あまりしか立たない令和2年初めから、今これを書いている令和3年4月までの間は、「新型コロナに始まり、新型コロナに終わり、しかもまだ感染拡大は収まらない」という、まさしく「新型コロナに翻弄された期間」となっています。

この間、附属図書館の業務の相当部分が、広い意味での新型コロナ対策に向けられました。大学本部の新型コロナ対策室と連携して、開館時間の不断の見直しはもとより、図書館入り口でのサーモグラフィーによる体温チェック、館内の座席の間引き、ラーニング・コモンズの閉鎖など、感染防止対策に腐心した／していることはもちろんです。利用者の皆さまの御不便を少しでも解消すべく、令和2年4月から5月の臨時休館中には、図書の郵送貸出も400件ほど行ないました。令和2年度を通じて、附属図書館に所蔵のない資料について、学内外の図書館からのコピー取り寄せ費用補助事業を行なっています。電子ジャーナルの購読タイトル縮小を補完する意味もあり、令和2年度は5,000件を超える取り寄せ費用を補助しました。図書館TA(Cuter)も、オンラインを活用した学習相談などを行なっています。このほか、電子書籍の整備、重要典籍のデジタル化など、コロナ禍がなくとも推進すべきデジタル化も、この状況下で加速しています。オープンサイエンスの一環として、今後デジタル化の要となるべき研究データのマネージメントにも、附属図書館が貢献していける部分が多くあるものと考え、準備を進めております。

令和2年度の附属図書館の活動として特筆すべきことのひとつは、ペシャワール会をはじめ、学内外多くの皆さまの御協力を得て、「中村哲医師メモリアル・アーカイブ」を構築し、令和3年3月に、皆さまの御利用に供したことです。このアーカイブは、不断に更新を行なって行きます。引き続き皆さまの御協力をいただいて、中村哲先生の意志を伝えて行くことに、貢献できればと考えています。

このほか、付設記録資料館では、「麻生家文書研究部門」を設置し、同文書の本格的な整理を進めています。付設教材開発センターは、引き続き、九州大学のDX(デジタル・トランスフォーメーション)教育の要として、実験や実習の分野まで、オンライン化を目指しています。コロナ禍で、オンライン授業を進めるにあたって特に重要な「電子教材著作権講習会」も、全学FDとして実施しています。医学分館では、改修工事が開始されます。御不便をおかけしますが、しばらく仮設図書館で対応させていただきます。

最後になりましたが、九州大学基金の用途特定寄附事業として行なっておりました「附属図書館中央図書館整備事業」は、令和2年度末を以って3年間の事業を終了いたしました。皆さまからの御協力を得て、電子ブックの充実を図ることができました。深く感謝申し上げます。なお、令和3年度からは、新たな事業として「九州大学デジタル資料整備事業」を5年間の予定で開始しております。貴重書などのデジタル化とその公開を進める事業です。引き続きの御協力をお願い申し上げます。

## 中村哲医師メモリアル・アーカイブを公開

九州大学では、久保千春総長(当時)主導のもと、アフガニスタン及びパキスタン北西部において長年にわたり医療、灌漑、農業等に心血を注いでこられた故中村哲医師(1946~2019、九州大学医学部卒・特別主幹教授)の志を次代につなぐため、氏の活動母体で現在も現地支援を続けるペシャワール会(福岡市)の協力並びに関係部署や教員の連携の下、

### ◆中村哲医師メモリアル・アーカイブ

#### ●展示スペース

展示スペースは、下記三つのコンセプトにより、映像、グラフィックス、年表、書籍等で氏の言葉と活動を伝えます。ガラススクリーンには、学生らが読書会を重ねる中で選んだ言葉が綴られています。

- ・「一人称」で語る展示：氏の「言葉」を手がかりに展示を構成
- ・「拡がり」へのタッチポイント：単なる業績紹介ではなく、共感を呼び起こし世界への拡がりへの出発点とする
- ・「探求」へのエントランス：「医」「水」「農」をキーワードとし、知的世界への探求の入口とする

本スペースでは、関連イベントの開催など、プロジェクトと連動した取

#### ●中村哲著述アーカイブ

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/nakamuratetsu>

「中村哲著述アーカイブ」は、氏が書き著した文章や発した言葉をデジタルデータの形で収集保存し、インターネットで公開するもので、貴重な著述の散逸を防ぐとともに世界中からの永続的なアクセスを保障することを目的としています。

氏は生前、活動報告や講演会、大小様々なメディアにおいて圧倒的な量と内容の発信をしてこられました。それらの多くは、研究者による学術論文などと異なり、商業誌や一般の流通ルートに乗らない機関誌など、時間とともに目にすることが難しくなるものたちです。本アーカイブでは、そのような記事の情報を収集し、目録データを作成し、発行元の許諾

### ◆中村哲医師メモリアル・アーカイブオープニングイベント

令和3年3月21日に、これら九州大学の取組を広く知っていただくことを目的に、中村哲医師メモリアル・アーカイブオープニングイベントを開催し、その様子をYouTubeにてライブ配信しました。

第1部のセレモニーでは、石橋達朗総長、久保千春中村学園大学学長(前総長)、ペシャワール会村上優会長のご挨拶に続いて、「中村哲先生の志を次の世代に継承する九大プロジェクト」の各取り組みについて、芸術工学研究院田上健一教授(副学長)、久保智之附属図書館長(副学長)、比較社会文化研究院錦木政彦教授(副学長)より、それぞれ紹介しました。また、中村哲先生追悼講演会・展示等の医学部同窓会の取組について医学部同窓会富永隆治会長よりご紹介いただきました。

第2部のトークセッション「未来につなぐ中村哲先生の言葉～学生たちの心に響いたメッセージはどこに向かって飛び立つのか～」では、芸術工学研究院池田美奈子准教授の司会のもと、中村哲医師の著書を読み語り合う読書会を重ねる中で、氏の生きざまに深く感銘した5名の九大学生(生物資源環境科学府博士後期課程3年 高濱良、統合新領域学府修士課程1年 川藤知恵、医学部保健学科4年 細谷うらら、医学部医学科3年 村口大知、共創学部1年 岡本偉吹)が、氏の著書から、将来の指針にし

「中村哲先生の志を次の世代に継承する九大プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトの核となるのが、展示スペースと中村哲著述アーカイブからなる「中村哲医師メモリアル・アーカイブ」、及び令和3年度から開講する「中村哲記念講座」です。

り組みを展開していく予定です。



展示スペース



中村哲著述アーカイブ

を得られたものから順次本文データを公開しています。

氏の思索と実践は、活動領域である医療、灌漑、農業にとどまらず研究や教育の優れた題材となると同時に、様々な課題に直面する現代社会において、多くのヒントと示唆を与えてくれます。また、発せられたメッセージは、我々の生活や仕事においても、拠って立つ指針となるでしょう。このアーカイブが、氏の志を伝え、次のだれかの仕事につながっていく、その橋渡しができればと願っています。

収録コンテンツ：現地報告、記録写真、新聞・雑誌記事、講演記録等

収録件数：670件、うち本文公開443件(2021.3末現在)。

たいと思う、心に響く言葉を選び、語り合いました。トークセッションは、学生たちが選んだ言葉を視聴者の方々とともにより深く味わうため、朗読をはさみながら進行了ました。

本イベントのYouTubeライブ配信映像は、多くの方に「中村哲医師メモリアル・アーカイブ」を知っていただくきっかけとなるよう保存公開しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=L6YE7bUj1cc>

なお、本イベントに先立ち、九州大学はペシャワール会と



相互協力に関する協定を締結しました。これに基づいて、今後も中村哲先生の志をつなぐ取組を進めて参ります。



第2部トークセッションの様子

## コロナ禍における図書館サービスの展開

令和2年度初頭より、コロナ禍における本学の行動指針の段階に応じて、各図書館も臨時休館を余儀なくされました。この期間に行った図書館サービスの展開を窓口対応、電子資料の提供、学習・教育支援の3項目に分けて紹介します。

### (1) 窓口対応

臨時休館の間は、学部最上級生・大学院生・教員を対象とした無料の郵送サービスを実施しました。貸出図書は406件(1,870冊)、文献複写物の郵送件数は207件にのびました。開館再開時には、当初は時間とサービスを限定した事前予約式で貸出のみのサービスを行い、9月から座席利用を開始しました。レファレンスやILLなどの受付は、原則Webやメール等で行い、対面での対応時間を減らしてサービスを行いました。



### (2) 電子資料の提供

出版社等がコロナ禍により特別提供する電子ブック・電子ジャーナルなどのトライアルサービス・学術機関向け無料アクセスをリモート環境で積極的に提供するとともに、契約中の学内利用限定データベース等についても、提供元との交渉によりリモートアクセスが可能となるよう環境整備を行いました。また、臨時休館に先立ち、図書館Webサイト上に、自宅で使える電子コンテンツをまとめた特設ページ(日/英)を作成し、公開しました。

オンライン授業への対応としては、中央図書館整備事業の寄附金を活用して学生向け電子ブックを重点的に整備することとし(5ページ参照)、Maruzen eBook LibraryやKinoDenなどのプラットフォームから直接購入リクエストを受け付けて、速やかに購入・提供を行いました。

貴重資料等の閲覧を希望する学内外の研究者のために、貴重資料等を電子化し即時公開を行いました。



### (3) 学習・教育支援

従来対面型で開催していた講習会等の代替として、学部1年生向けのレポート講座・実験レポート講座・プレゼン講座や、文献の探し方講座の教材を本学のeラーニング支援システム上で提供しました。また、教職員からの要望に応じた図書館紹介資料の作成や映像配信等により、遠隔授業の実施に協力しました。

学生に対する学習支援を行う大学院生の図書館TA(Cuter)は、在宅勤務によりWebサイト上の質問フォームからの学習相談対応や、電子ブックの利用を支援するWeb学習ガイドの作成等に取り組みました。2年12月から、感染症対策を徹底した上で、対面での学習相談を再開しました。

### 〈主な出来事〉

※九州大学の行動制限段階 1.5:一部制限 2:制限小 3:制限中 4:制限大

日付	行動制限	出来事
2020. 4. 3	-	【大学】遠隔授業に変更
4. 7	4	【国】緊急事態宣言
4.10	4	新型コロナウイルス感染症対応特設ページ開設 職員の在宅勤務開始
4.11	4	臨時休館開始(～5/31) *医学図書館は、医療従事者のために限定的なサービスで開館を継続
5. 1	4	図書館TA(Cuter)在宅勤務開始 「新・レポートの書き方講座」eラーニング教材公開
5.13	4	無償の郵送サービスの開始(～5/27受付終了)
5.14	4	【福岡】緊急事態宣言解除
5.2	3	電子ブックの利用を支援するWeb学習ガイド公開
5.25	3	【国】緊急事態宣言解除
6. 1	3	図書館再開(予約制での限定開館)
6.25	2	【大学】夏学期開始(対面授業の一部開始) 5図書館開館(予約制終了) 学習相談Web受付開始
9.14	2	閲覧席の一部利用開始
10. 1	2	【大学】秋学期開始 開館時間の延長
12. 1	1.5	土日開館の再開 学習相談デスク再開
2021. 1.13	2	【福岡】2度目の緊急事態宣言
1.14	2	開館時間の変更(～19時)
2.28	2	【福岡】緊急事態宣言解除

\*開館については中央図書館をメインに記述



レポートの書き方講座  
eラーニング教材

## 論文等コピーの取り寄せにかかる費用の補助を開始

附属図書館では、自館に所蔵のない資料について、学内外の図書館からコピーの取り寄せを行っています。従来、同サービスにかかる料金は申込者が負担していましたが、電子ジャーナルの購読タイトル縮小を補完するため、令和2年4月より、右記の条件に基づき全学の経費で負担する補助事業を開始しました。令和2年度は5,000件を超える取り寄せを補助し、教員や学生から「素晴らしい取り組み」「非常に有難い」といった声が寄せられました。特に研究費を持たない大学院生等の若手研究者にとっては金銭的な負担を気にせず存分に論文を取り寄せることが可能となり、本学の学習・研究活動を支える重要な取組となりました。なお、同事業は、定期的に見直しが行われますが、令和3年度も継続する予定です。

### 補助の条件

取り寄せの申込者	： 本学の学生・教職員
取り寄せの申込方法	： ウェブサイトからの申込
論文等コピーの用途	： 本学における研究・教育・学習活動に使用
一件あたりの金額	： 5,000円以下の取り寄せ
取り寄せ先	： 学内の他キャンパス図書館 学外の大学図書館 (ILL料金相殺サービス機関) 外部ドキュメントデリバリーサービス

## 中央図書館整備事業 寄附金の活用

平成30年3月に開始した九州大学基金使途特定寄附「九州大学附属図書館中央図書館整備事業」は、おかげさまで多くの方々からご支援を賜っております。いただいた寄附金により、令和2年度は以下の整備をすすめることができました。

### ●電子ブックの充実

新型コロナウイルスの影響により、多くの学生が自宅での学習を余儀なくされている現在、図書館へ来館しなくても利用可能な電子コンテ

ツの需要が高まっています。このことをふまえ、令和2年度は主に学部生向けの電子ブック160冊を整備しました。

本事業は令和3年3月をもって終了し、4月よりデジタル資料等の学習・教育・研究環境の一層の充実と、貴重書等の保存とデジタル公開を促進することを目的とした、「九州大学デジタル資料整備事業」を開始します。引き続き、温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

## オープンサイエンス推進の取組

### ●オープンアクセスの推進

令和2年1月、学術研究を所管する全学委員会である学術研究・産学官連携戦略委員会の下で学術研究推進会議内にジャーナル検討タスクフォースを設置し、1年強をかけて、論文投稿・購読をめぐる世界的な潮流を踏まえたジャーナルに関する今後の在り方を集中的に検討しました。

本タスクフォースでは、論点のひとつとして、オープンアクセスの推進の方向性について議論を行い、リポジトリを主とするGreenOA推進の方策として、リポジトリシステムの高度化・機能強化やリポジトリ登録に対するインセンティブ付与等に関する提案資料をまとめました。また、IR室と連携し、オープンアクセス・ジャーナルへの投稿支援に資する調査・分析を行い、執行部への説明や同タスクフォースへのデータ提供を行いました。

オープンアクセス推進のための研究者向け広報活動としては、国際的なオープンアクセスキャンペーンとして毎年行われているオープンアクセスウィークに際して、図書館ウェブサイト上で利用者向けページを作成し、リポジトリの多様性やオープンアクセスに関する啓発を行いました。また、ジャーナルに関する現状への理解や行動意識の醸成を目的とした研究者向けeラーニング教材の作成に着手しました。令和3年度に部局FD等で集中的に展開する予定です。

さらに、購読契約とAPC(Article Processing Charge)の最適化を検討するための基礎データとして、令和元年度より開始した全学的な論文投稿料実態調査を継続し、分析を行っています。

### ●研究データに関する取組

オープンサイエンスの潮流や研究DXの加速化を背景に、研究成果のオープン化や研究データの適切な管理への社会的要求が高まる中、オープン・アンド・クローズ戦略に基づいた研究データマネジメントが各研究機関及び研究者に求められています。

こうした中、令和元年度に引き続き、情報統括本部内に設置した研究データ管理基盤検討タスクフォースにおいて、情報基盤研究開発センター、情報システム部、図書館、URA、IR担当部署等の連携の下、研究データ管理基盤GakuNinRDMの実証実験や、システム基盤の要件整理、研究データ管理支援サービス構築に向けたサービス内容の検討等を行いました。6月には、大学マネジメントミーティングにて「研究データ管理・公開に関する提言と課題」と題した中間報告を行い、その内容をベースに、大学のDX構想の下、研究データ管理の支援組織の整備を目指して検討を進めています。

また、取組の一環として、令和2年2月にはセミナー「はじめての研究データ管理とそのサポート」を開催した(8ページ参照)ほか、国立大学図書館協会の「オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画」の助成を受け、研究データの管理・公開に係る研究者向けeラーニング教材を開発中です(令和3年度前期公開予定)。

全国的な活動としては、AXIES(大学ICT推進協議会)のRDM部会に図書館職員が参加し、研究データの管理・公開やポリシー策定に関する国内外の動向を調査するとともに、「大学における研究データポリシー策定のためのガイドライン」の作成に協力しました。

## 「麻生家文書」整理・研究プロジェクトの開始

記録資料館産業経済資料部門の主な収蔵資料に、福岡藩の庄屋で、筑豊御三家の一つとして石炭産業を牽引した麻生家と、同家が経営した関連会社に由来する膨大な史料群「麻生家文書」があります。年代は幕末から戦後にわたり、分量は大型文書箱に1500箱以上、史料数は数万点に及びます。この史料群は、嘉穂・穂波両郡に関する庄屋文書や、石炭産業のみならず、麻生家の関わった鉄道、銀行、電力、築港などの関係会社の会計帳簿や書類、さらに、貴衆両院議員を務めた麻生太吉(1857～1933)の政治・経済活動に関わる膨大な書簡・書類などから構成されています。

飯塚市栢の森にあった麻生家の米蔵に保管されていた「麻生家文書」の調査は1974年から始まり、九州大学石炭研究資料センター、記録資料館において整理が続けられ、カード目録の作成や部分的な目録の公開、『麻生太吉日記』全5巻の出版など、調査・研究の実績を積み上げてきました。

これまでの取り組みを加速・拡大させるために、株式会社麻生から寄附を受け、令和2年度より「麻生家文書」整理・研究プロジェクトを開始し、記録資料館の5つ目の部門として麻生家文書研究部門が時限設置され

ました(10年間の予定)。本部門は、「麻生家文書」整理を進めたうえで、(1)「麻生家文書」目録データベースの公開・充実による研究基盤の創出、(2)「麻生家文書」を核とする石炭産業をめぐる包括的研究の推進、(3)研究成果の発信の三点を柱に活動を進めていきます。



「麻生家文書」にある書簡と保管されていた木箱

## 付設教材開発センターの活動

教材開発センターは、ICTを活用した質の高い電子教材を提供し、教育の質の向上を図ることを目的に様々な事業に取り組んでいます。特に令和2年度は、コロナ禍によるオンライン授業等への対応として、教材開発センターならではの支援活動を幅広く実施しました。

### 1. 部局との連携及び学生協働によるICT活用電子副教材の開発と開発支援

基幹教育院をはじめとした各部局との連携及び学生協働により、日本史学教材、中国文学教材、放射線治療トレーニング教材、歯科治療トレーニング教材など、3次元CGやウェブ技術を活用した双方向型電子教材の開発を過年度より継続して実施しています。2年度は、工学部機械工学科目(金属切削の3次元CG教材)の開発を新規に開始しました。また、完成した教材は順次公開を行っています。

### 2. 映像教材等の撮影・編集・公開

本学の授業、講演会、講習会、各種イベント等を撮影・編集し、本学Webページをはじめ、YouTube、Podcast、OCWにより令和3年3月末現在約1,445件の動画等を学内外に広く公開しています。また、平成30年度から始まった高校生対象の教育プロジェクト「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」のオンライン授業向け講義収録とライブ配信等を担当しました。

平成26年度から継続して制作・開講しているJMOC講座は、令和2年度「気候変動と大気汚染の入門」を開講しました。受講者数は614名で、50.5%という非常に高い修了率となりました。また、次のJMOC講座の取組を開始し、3年度夏季に開講する予定です。

平成28年度から取り組んでいる「代表的研究者紹介ビデオ」(先生の森【動画版】)については、第一期の撮影編集を終え、第二期の取組(九大百家)を令和元年度から継続して実施しています。

### 3. 電子教材の著作権に関する取り組み

例年、電子教材を制作する際の著作権の取り扱い等について解説する「電子教材著作権講習会」を全学FDとして実施していますが、2年度はオンライン開催(約70名参加)としました。また、オンライン授業必須の状況から「オンライン授業に向けた著作権講習」をオンラインにて2回実施し、合計で100名以上の参加者がありました。さらに、2年度、緊急・特例的に運用開始となった「授業目的公衆送信補償金」制度の利用申請や相談窓口の対応をしました。

### 4. 教育改革推進本部「教育方法・教材開発部門」に係る取り組み

平成29年度に設置された「九州大学教育改革推進本部」の「教育方法・教材開発部門」に係る取組として、ICT活用教育の啓発を目的に「電子教材開発者向け講習会」をオンライン開催(約40名参加)し、教材開発センターの電子教材開発の取組について報告しました。また、「ラーニングアナリティクス部門」が開催した「M2B講習会」にて教材開発センターの活動報告をしました。さらに、学内のICT活用教育の推進を目的に「電子教材開発に係るニーズ調査」を令和3年1月～2月に実施し、回答のあった電子教材開発に係る要望等について支援活動を行っています。



代表的研究者紹介ビデオの第二期「九大百家」のページ  
<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/research/close-up>

# 展示会・講演会 Exhibitions & Seminars

## 電子展示「九州大学のコレクション 一大学創設期のアジア学術交流と古地図」

【期 間】令和2年9月1日(火)～11日(金)  
 【会 場】九州大学附属図書館Webサイト  
<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/exhibition/asiaweek2020>  
 【共 催】九州大学附属図書館・総合研究博物館・大学文書館

本電子展示は、「Kyushu University Asia Week 2020」(九州大学主催 2年9月1日～11日)での特別企画として実施しました。集客しての展示会の代替手段としての試みであり、九州大学で初めての3館(附属図書館・総合研究博物館・大学文書館)連携での展示となりました。

3館でそれぞれに所蔵する九州大学創設期に功績を残された先生方に纏わるコレクションを一堂に集め、アジアとの学術交流にスポットをあてて紹介し、また、交流の舞台となるアジア地域の古地図の高精細画像を一挙大公開しました。

弥生時代の土器をObjectVRにより360°回転させながら見ることができたり、『福岡城下町・博多・近隣古図』では、絵図に書かれている文章

の一部を翻刻し、図上に注釈として表示させるなど、デジタル展示ならではの方法で公開しました。

九州大学は、附属図書館、総合研究博物館、大学文書館、各研究室等それぞれに貴重な史資料を所蔵しています。これらをまとめて「九州大学のコレクション」として見せることができれば!と以前から関係者の中で語っていた想いを実現するための端緒となる企画となりました。



注釈表示  
『福岡城下町・博多・近隣古図』(記録資料館蔵)



ObjectVR「蛸壺(カキの貝殻入り)」  
中山平次郎コレクション(総合研究博物館蔵)



昭和四年進退書類 農学部(大学文書館蔵)

## 電子展示「江戸の畸人たち 一中野三敏名誉教授没後一周年記念展示」

【期 間】令和2年11月24日(火)～令和3年3月31日(水)  
 【会 場】九州大学附属図書館Webサイト  
[https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/exhibition/nakano\\_memorial](https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/exhibition/nakano_memorial)  
 【主 催】九州大学附属図書館  
 【協 力】九州大学人文科学研究院 国語国文学研究室

九州大学名誉教授であり、江戸文学研究の第一人者であった中野三敏先生の没後一周年を迎えるにあたり、先生の生前を偲び、功績をたたえるため、電子展示会を開催しました。

この展示会では、中野先生が生前に遺された著書『近世新畸人伝』(毎日新聞社、1997年)の中から、江戸時代中期の5名の「畸人」たちの著述を1点ずつ取り上げ、その画像と共に紹介しました。また、中野先生が蒐集された江戸文学の膨大な資料群「雅俗文庫」の中から電子化済の資料もあわせて公開しました。



『近世新畸人伝』(毎日新聞社、1977年), 『近世新畸人伝』(岩波書店、2004年)



自墮落先生『勞四狂初編』(雅俗文庫/44小説c/ロウ)

## 図書館TA (Cuter) 企画イベント

図書館に自律的な学びの雰囲気を生み出すため、大学院生の図書館TA (Cuter) が自身の専門知識や経験を活かしたイベントを、図書館職員と協働して企画・実施しています。

### (主なイベント)

#### ●Cuter Café

図書館TA (Cuter) が特定テーマについて取り上げるシリーズ企画です。令和2年度は、「話す・聞く・話し合う デイバートに学ぶコミュニケーション」「英語プレゼン&エッセイ入門」「先輩内定者が語る修士・博士での就活体験談」の3回をいずれもオンラインで開催しました。

#### ●Cuter本棚

図書館TA (Cuter) 自らが設定したテーマに関するおすすめの本を選び、コメントを付けて展示しています。令和2年度は、「科学への入り口、BLUE BACKSの魅力」「巨人の肩から見る世界」などをテーマに館内で展示をおこなったほか、コロナ禍での学生の自宅学習を支援するため、図書館TAが薦める電子ブックを紹介した学習ガイドを作成し、Cute.Guides上で公開しました。



図書館TA(Cuter) おすすめ電子ブック

## セミナー「はじめての研究データ管理とそのサポート」

**【日 時】**令和3年2月1日(月) 13:00~15:00

**【会 場】**オンライン (Webex)

**【主 催】**九州大学附属図書館、統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻

**【参加者】**73名

研究データ管理に関する初心者向けオンラインセミナーを開催しました。学内外から、研究者、学生、URA、テクニカルスタッフ、技術職員、図書館職員等、さまざまな立場の参加者が集まり、研究データ管理に対する関心の高まりを窺わせました。

国立情報学研究所 (NII) の古川雅子助教による講演「研究データ管理に求められる支援スキル・支援体制」では、研究データ管理の概要のほか、職種に応じてどのような支援が求められているか、支援スキルの体系化や支援者向けの教材開発に関するレクチャーがありました。

ライブラリーサイエンス専攻の大学院生による講演「ユーザ向け研究データ管理教材の開発とデータ管理の実態調査」では、3つのグループに分かれて、研究者の視点による研究データ管理教材の分析結果や研究データ管理の実態調査に関する成果報告がありました。

講演のあとは、参加者も交えて質疑応答や意見交換を行い、研究者と研究支援者の間で相互の理解を深めました。参加者から寄せられたアンケートの回答には、「支援スタッフとして図書館職員、URA、情報系の職員といった専門性のある職種が挙げられていたが、一般的な事務職員が貢献できる場所があればもっと知りたい」という積極的な感想もありました。



## 医学図書館 ロビー展示

医学系の学生や研究者にとって有益な展示を医学図書館1階ロビーにて開催しました。

### ●よみぐすり〜あなたに効く本きつとここにあります〜(Cuter企画)

令和元年度から実施している展示に加えて、「新薬」と銘打った追加の図書を合わせて展示しました。

### ●おすすめEBOOK紹介

九大コレクションで閲覧できる電子ブックのうち、医学系の学生に推薦したい本の情報をボードにまとめて展示しました。

(テーマ) 1. COVID-19を知る、 2. 国家試験、 3. くらしと健康

### ●合格祈願しおり

国家試験を受験する学生のためにオリジナルしおりを作成し配布しました。



展示の様子

# 国際化 Internationalization

## JTW・JLCC留学生向けオンラインツアー

令和2年度後期に在籍中のJTW(The Japan in Today's World)・JLCC(Japanese Language and Culture Course)プログラムの留学生を対象とした英語でのオンライン図書館ツアーを12月12日に実施しました。コロナ禍の影響で来日できずプログラムの授業を自国でオンライン受講している留学生のために、海外からの図書館サービス活用法の説明に加え、3年春の来日に備えて実際の図書館の様子や利用方法をライブツアーで体感してもらいました。ユニークな職員紹介

動画やライブツアーにクイズを織り込むなどの工夫が功を奏し、留学生も積極的に楽しんで参加している様子が見られました。

ライブツアーの様子



## 折り紙教室：Kyushu University Global Peace Symposiumに向けて

留学生センター主催の長崎原爆被爆者による講話を中心としたオンライン国際シンポジウム「Kyushu University Global Peace Symposium」(令和3年1月23日開催)の協力団体として、シンポジウム関連企画「折り紙教室」を、JTW・JLCCプログラムを中心とした留学生を対象に、1月14日にオンライン(Zoom)で開催しました。

学生時代に折り紙サークルに所属していた図書館職員が講師となつて、折鶴を平和折念の象徴となった経緯等についてのミニレクチャーと折鶴の実際の折り方の指導を英語で行いました。7か国9名の留学生に加えてJTWチューター、図書館TA(Cuter)、留学生センター教員、国際部職員など総勢25名が、それぞれの国からオンラインでつながり参加しました。留学生は初めての折り紙に苦戦している様子でしたが、講師の

丁寧な指導と、それを効果的に伝える配信の工夫、Zoomのブレイクアウトルーム機能を使った個別サポート等により、最後には全員が折鶴を完成させることができました。

留学生にも大変好評で「講師の明快な説明のおかげで、折鶴を完成させることができとてもうれしかった」「ただの1枚の紙がこのようなアート作品に変化するなんて、本当にすごいと思った」「イベントの全ての瞬間が楽しく、大きな学びの時間だった」「またぜひこのようなワークショップに参加したい」といった感想が聞かれました。

本イベントによって、シンポジウムへの有意義な参加を支援するとともに、コロナ禍で来日のかねわない留学生に特別な時間を提供することができました。



折り紙教室配信の様子



ブレイクアウトルームでサポートする図書館TA(Cuter)



完成した折鶴をもって記念撮影

## 国際会議等へのオンライン参加

【参加者】石田 栄美(研究開発室准教授)

【日程】令和2年8月1日～8月5日

【会議】JCDL 2020 (ACM/IEEE Joint Conference on Digital Libraries 2020)

【参加者】石田 栄美(研究開発室准教授)

【日程】令和2年10月19日～10月23日

【会議】ALISE 2020 Annual Conference (Association for Library and Information Science Education Annual Conference 2020)

【参加者】石田 栄美(研究開発室准教授)

【日程】令和2年10月22日～11月1日

【会議】ASIS&T Annual Meeting (83rd Annual Meeting of the Association for Information Science and Technology)

【参加者】金子英弥(eリソース課eリソース管理係)

【日程】令和2年11月23日～11月25日

【会議】ICOLC Meeting (The International Coalition of Library Consortia)

【参加者】石田 栄美(研究開発室准教授)

【日程】令和2年11月30日～12月1日

【会議】ICADL 2020 (The 22nd International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries 2020)

【参加者】石田 栄美(研究開発室准教授)

【日程】令和2年12月8日～12月11日

【会議】NTCIR-15 Workshop (NII Testbeds and Community for Information Access Research)

【参加者】石田 栄美(研究開発室准教授)

渡邊 由紀子(学術サポート課長・准教授)

【日程】令和3年3月17日～3月31日

【会議】iConference 2021

## ◆講習会

学習・研究を行う上で必要な文献を効率よく探し活用できるよう、学生・教職員を対象に様々な講習会を開催しています。図書館側であらかじめ内容や日時を設定し広く参加を呼びかける「図書館企画」の講習会、教員からの要望に応じて内容や日時を全てカスタマイズして行う「オンデマンド」の講習会を並行して実施しています。令和2年度は、新型コロナ

ウイルスの影響を受け、対面型で開催していた講習会に代わり、eラーニング教材の提供や動画配信で講習会を実施しました。「オンデマンド」の講習会でも、教職員からの要望に応じた図書館紹介資料の作成や動画配信等により、遠隔授業の実施に協力しました。

### 〈注目の講習会〉

#### ●レポートの書き方講座／実験レポート講座／プレゼン講座

基幹教育の授業支援として図書館TA (Cuter) と協力して開催している講習会です。受講者にとって一層満足度の高い講座にするために、図書館TA (Cuter) と図書館職員が議論を重ね、内容をブラッシュアップしています。令和2年度は対面型での開催を中止し、3講座の教材を本学のeラーニング支援システムで提供しました。このうちレポートの書き方講座については、付設教材開発センター協力の下、新たにスタジオで撮影を行い教材化しました。3講座合わせたeラーニング受講者数は1,295名にのぼりました。

#### ●文献の探し方講座

日本語・英語文献を探す検索ツールの活用法に関する講習会についても、対面型での開催を中止した代替としてeラーニング教材を提供しました。留学生を対象として文献の検索方法を英語で説明するeラーニング教材「How to search for academic papers」を作成し、M2B学習支援システムで公開しました。

#### ●図書館を使いこなすためのショートムービー

図書館での本の探し方や、データベースの使い方、論文のフルテキストの入手方法など、学習・研究に役立つ情報に関するショートムービーを作成しました。動画は5分程度で気軽に視聴でき、図書館を使いこなすための情報を得ることができます。

[https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/library\\_use/shortmovie](https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/library_use/shortmovie)



## ◆Cute.Guides

Cute.Guidesは附属図書館がWeb上で提供する調べ方ガイド・学習ガイドです。平成25年3月の正式公開以来、図書館職員や図書館TA (Cuter) が様々なコンテンツを作成し、テーマごとの解説とともに参考図書等の役立つ情報源を紹介しています。

令和元年度より、各ガイドへのリンク記事を国立国会図書館「レファレンス協同データベース」の「調べ方マニュアル」へ登録開始しました。令和2年度も継続して積極的な登録および一般公開を行い、その実績が選定基準を満たしたとして、2年連続で国立国会図書館長より感謝の礼状が授与されました。

#### 図書館ウェブサイト>Cute.Guides

<https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp>

ガイド総数 197点 (令和3年3月31日現在)

アクセス数 1,211,803ページビュー (令和2年度)



## 令和2(2020)年度実績

### ●種類別

会場	図書館企画		オンデマンド		計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
伊都(中央)	0	0	8	2,977	8	2,977
伊都(理系)	4	11	12	590	16	601
病院	7	36	6	184	13	220
芸工	0	0	0	0	0	0
筑紫	0	0	0	0	0	0
全地区(オンライン)	3	104	0	0	3	104
合計	14	151	26	3,751	40	3,902

### ●受講者別

会場	受講者数					計
	教職員	院生	学部生	学内その他	学外者	
伊都(中央)	8	11	2,953	5	0	2,977
伊都(理系)	16	110	475	0	0	601
病院	18	56	146	0	0	220
芸工	0	0	0	0	0	0
筑紫	0	0	0	0	0	0
全地区(オンライン)	41	26	25	12	0	104
合計	83	203	3,599	17	0	3,902

### ●実施言語別

言語	回数	受講者数
日本語	34	3,806
英語	6	96

### ●講師別

講師	回数	受講者数
図書館職員	35	3,777
Cuter	0	0
外部講師	5	125

### ●eラーニング教材

講座名	実施言語	講師	受講者数
レポートの書き方講座	日本語	Cuter	863
実験レポート講座	日本語	Cuter	260
プレゼン講座	日本語	Cuter	172
文献の探し方講座	日本語	図書館職員	187
How to search for academic papers	英語	図書館職員	213

### 〈令和2年度に公開した主なガイド〉

#### ●シリーズ「私の卒論ができるまで」

修士課程の図書館TA (Cuter) が、学部時代にどのように卒業論文に取り組んだかを詳しく語るシリーズガイドです。令和2年度は理学部・農学部のガイド3点が新たに加わり、本シリーズによるガイドは合計12点となりました。

#### ●素粒子物理学入門

物質を構成する最小の粒子である「素粒子」と、その振る舞いを研究する「素粒子物理学」について紹介するガイドです。素粒子にはどのようなものがあるか、理論的にはどう考えられているか、実験によって何が分かったか、といった話題をイラストや数式を織り交ぜつつ解説しています。

#### ●図書館TA (Cuter) に本の読み方をきいてみた

論文や専門書など、研究のために日々たくさんの文献を読みこなす図書館TA (Cuter) たちが、それぞれ実践する読書法や参考になる資料を紹介しています。学習相談に届いた質問をきっかけに作成したガイドです。

## 新規コレクション

### ◆寄贈コレクション

#### ●ボダン『歴史の方法』・『国家論六編』

令和元年度に整理が完了し利用可能となった、法文学部宇賀田順三教授(1898~1979)の旧蔵書「宇賀田文庫」に含まれる貴重資料です。ボダン(Jean Bodin)は16世紀フランスの経済学者・法学者です。宗教戦争による内乱を鎮めるため、中央集権国家の建設を謳った『国家論』(Les six livres de la republique)で名が知られますが、その10年前に上梓されたラテン語の著作『歴史の方法』(Bodini Methodus, ad facilem historiarum cognitionem)も、ボダンの思想解明に重要な意義を有します。



『歴史の方法』



『国家論』

(Bodini Methodus, ad facilem historiarum cognitionem) (Les six livres de la republique)

## デジタルコンテンツ

#### ●貴重資料のデジタル化・公開

コロナ禍の影響で、資料のデジタル化公開に対する要求が著しく高まった1年でした。来館できない利用者の求めに応じて、迅速に貴重資料のデジタル化を行い公開するとともに、オンラインイベントの一環として電子展示会を開催し、多くのデジタル化画像を新規に公開しました。

また、国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」(平成26~令和5年度)の連携拠点大学として、2年度は和本1,712点をデジタル化しました。同資料館の新日本古典籍総合データベース及び当館の「九大コレクション」から順次公開します。

#### (令和2年度の主な新規公開コンテンツ)

- ・江崎文庫 253点
- ・アジア古地図 60点
- このほかリクエストとして
- ・和漢朗詠集謄解 10点
- ・倭漢朗詠集私注 3点
- ・倭漢朗詠集鈔 6点 等

#### ●貴重資料のメタデータの整備・充実

デジタル化公開を進める一方、2年度は以下の通りメタデータの整備を重点的に行い、検索性・国際流通性の向上や内容の充実を図りました。

- ・タイトルのローマ字ヨミ(中国語の場合はピンイン)を追加
- ・複数の号や字を持つ著者について、別名を追加  
例)『損軒編録』の場合、「損軒」の代表的な名義である「貝原益軒」を追加
- ・原資料の目録データと、デジタル化画像のメタデータの相互リンク
- ・過去の展示会図録に書かれた資料の解説文を、デジタル化画像のメタデータに記述

令和2年度の公開点数：538点 20,786コマ  
累積の公開点数：7,251点 383,994コマ(令和3年3月31日現在)  
利用件数：68,613件(令和2年度)



『秋野七草考』(江崎文庫)

<http://hdl.handle.net/2324/4066748>



「68州に区分された日本帝国」

<http://hdl.handle.net/2324/4066848>

## 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)は、学内研究成果の収集・蓄積・保存・公開を目的として、平成18年4月14日にサービスを開始しました。コンテンツの登録者や利用者の皆さまに支えられ、令和3年4月をもって開設15周年を迎えます。

令和2年度新規登録件数 4,105件  
 うち  
 > OA方針対象コンテンツ 2,462件  
 > Q-RADeRSからの登録 231件  
 累積登録件数 45,701件(令和3年3月31日現在)  
 利用件数 1,115,647件(令和2年度)  
 ※OA方針対象コンテンツ：学術雑誌論文・会議発表論文・紀要論文

### ●新規登録コンテンツ

#### 〈令和2年度に登録を開始したコンテンツ〉

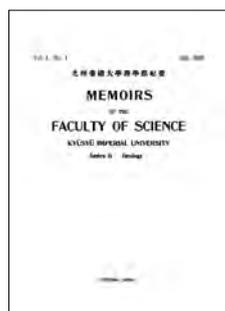
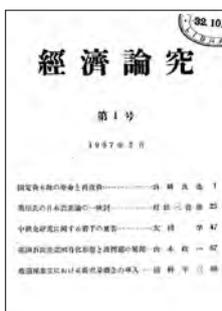
・『障害史研究』(九州大学大学院比較社会文化研究院)1号(令和2(2020)年)

#### 〈令和2年度に登録した特徴のあるコンテンツ〉

・『ローマ大土地所有制研究』(馬場典明)  
 平成30年2月5日に86歳で逝去された馬場典明名誉教授(西洋史学)のご遺稿です。

#### 〈令和2年度に登録した主なバックナンバー〉

・『芸術工学研究』(九州大学大学院芸術工学研究院)1-6, 1-12号  
 (平成11(1999)年-平成22(2010)年)※九州芸術工科大学時代の巻号を含む  
 ・『経済論究』(九州大学大学院経済学会)1-136号(昭和32(1957)-平成22(2010)年)  
 ・『Memoirs of the Faculty of Science, Kyushu University. Series D, Earth and planetary sciences』(九州大学大学院理学研究院)1-31, 32巻1号(昭和15(1940)-平成20(2008)年)※九州帝国時代の巻号を含む  
 2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、電子化作業に従事する学生アルバイトが在宅勤務を行いました。



### ●運営指針の改正とCrossref DOIの導入

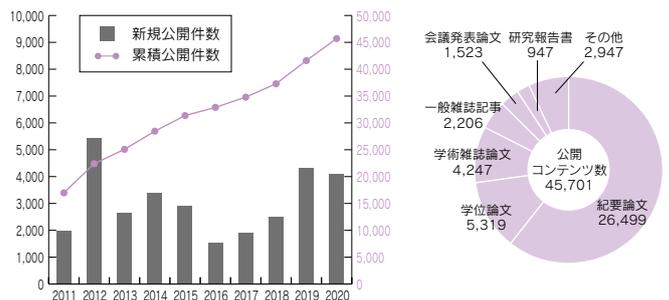
「九州大学学術情報リポジトリ運営指針」を改正し、デジタルオブジェクト識別子(DOI)の付与を明文化しました。また、学内発行の欧文雑誌等に収録された論文に対しては、より国際流通性の高いCrossref DOIの付与を開始しました。DOIの利用を促進することで、学術コミュニティやデータベースで研究成果がより見つけやすくなり、その引用やリンク、評価や再利用がいつそ期待できるようになります。

### ●中村哲著述アーカイブ

中村哲先生のご遺志を後世に引き継ぐため、残されたご著書、報告書・レポート類、新聞雑誌記事、講演記録、写真、映像等のさまざまな関連資料を一元的に検索できるように、QIRのシステムを利用して「中村哲著述アーカイブ」として提供を開始しました。(3ページ参照)

### ●15年間のあゆみ

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)は、2006年4月の開設から15年を迎えます。



2006(H18).04.14	九州大学学術情報リポジトリ(QIR)公開
2006(H18).08~2007(H19).02	機関リポジトリの先進的取組みを学ぶため、クイーンズランド工科大学(オーストラリア)へ職員を派遣
2007(H19).04	九州大学研究者情報との相互連携を開始
2008(H20).11~2010(H22).01	CSI委託事業「持続可能な機関リポジトリのための人材進化構造」講習会(全4回)を開催
2009(H21).01	「九州大学学術情報リポジトリ運営指針」正式版を策定
2009(H21).01	コンテンツ数が1万件を突破
2012(H24).07	コンテンツ数が2万件を突破
2013(H25).04	学位規則の改正により博士論文のインターネット公表が義務化
2013(H25).12	独立システムであったQIRを九大コレクションへ統合し、九大蔵書等と一元的に検索可能とした
2014(H27).05	「九州大学百年史」を公開
2015(H27).06	ジャパンリンクセンター(JaLC)の準会員となり、10月にDOIの登録を開始
2015(H27).08	コンテンツ数が3万件を突破
2015(H27).08	大学図書館との共同事業として「九州大学新聞(九州帝国大学新聞)」の画像データを公開
2016(H28).01	オープンアクセス方針 教育研究評議会決定
2016(H28).12	オープンアクセス方針実施要領 商議委員会決定
2017(H29).01	オープンアクセス方針 運用開始
2018(H30).01	九州大学教員活動進捗報告システム(Q-RADeRS)との相互連携を開始
2018(H30).12	JPCOARスキーマを導入(全国初)
2019(R01).10	図書館Webサイトにてオープンアクセスのページ公開
2019(R01).12	コンテンツ数が4万件を突破
2020(R02).10	Crossref DOIの登録を開始

## 令和2年度研究開発室研究開発事項

## ● 総括

研究開発の総括	久保 智之（附属図書館長、副学長）	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	-------------------	---

## ● I 学習・教育活動との連携に関する分野 I 学習・教育活動との連携に関する分野

図書館による学習・教育支援に関する調査研究	富浦 洋一（副館長） 石田 栄美（研究開発室） 内山 英昭（研究開発室） 山田 政寛（基幹教育院）	九州大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行う。
図書館による教材開発および著作権処理に関する調査研究	岡田 義広（付設教材開発センター） 吉田 素文（特別研究員） 金子 晃介（サイバーセキュリティセンター）（協力教員）	インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の研究開発と、教材作成にかかる著作権処理問題について調査研究を行う。

## ● II コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野

九州大学所蔵資料および資料保存に関する調査研究	川平 敏文（人文科学研究院） 中里見 敬（言語文化研究院） 永島 広紀（韓国研究センター） 三輪 宗弘（付設記録資料館） 梶嶋 政司（付設記録資料館） 平 将志（付設記録資料館） Wolfgang Michel（特別研究員） 和仁 かや（特別研究員） 古賀 康士（特別研究員） 原口 大輔（付設記録資料館）（協力教員）	九州大学が所蔵する貴重資料、コレクション等について、由来や内容、価値等の調査や、画像及び書誌データベース作成等についての調査研究を行うとともに、図書館における資料保存・管理体制等についての調査研究を行う。
図書館に係る学術情報の流通および発信に関する調査研究	富浦 洋一（副館長） 内山 英昭（研究開発室） 畑埜 晃平（基幹教育院） 伊東 栄典（情報基盤研究開発センター） 池田 大輔（システム情報科学研究院）	学術情報資源をより効果的に発信するために、発信機能の高度化と検索システムに関する研究開発を行う。

## ● III 図書館運営に関する分野

図書館における高度専門知識を有する人材育成に関する調査研究	石田 栄美（研究開発室） 岡崎 敦（人文科学研究院）	図書館職員の専門性および次世代を担う情報専門職の育成をはかるための調査研究を行う。
図書館サービスの創出に関する調査研究	石田 栄美（研究開発室） 内山 英昭（研究開発室） 畑埜 晃平（基幹教育院）	図書館利用状況の分析や国内外図書館の視察等にもとづき、新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。

## 『濱文庫戲単図録』刊行

濱文庫は、九州大学教養部教授であった濱一衛（1909～1984）が収集した中国演劇資料の宝庫です。なかでも、1930年代の北平（現在の北京）留学時に濱教授が持ち帰り、大切に保存していた中国演劇の戲単（芝居番付）は貴重で、ほとんどが世界に1枚しか現存しないものです。このたび、研究開発室員の中里見敬教授の編纂により、『濱文庫戲単図録：中国芝居番付コレクション』が刊行されました。本書は、濱文庫に所蔵される戲単186枚について、図版と解説を掲載した図録です。加えて戲票（チケット）43点、および映画説明書5点も収録されています。本図録は、これら濱文庫の戲単、戲票を研究資料として提供することを目的として作られました。

16名の執筆による戲単1枚1枚の解説によって、1930年代の舞台と名優が見事に甦りました。さらに19編のコラムを配し、読み物として楽しみながら、京劇通になっていただけることと思います。

中里見敬・松浦恒雄編『濱文庫戲単図録：中国芝居番付コレクション』  
（花書院、2021年、<http://hdl.handle.net/2324/1001710605>）



## 在宅勤務下の職員研修

コロナ禍により、令和2年度は集会等による職員研修の機会はありませんでしたが、一方でオンラインで受講可能な研修や講演会が増加しました。図書館のプロジェクト管理ツールBacklog上において、自宅で受講できるオンライン研修をリスト化し、在宅勤務においても大学での業務に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質の向上を図ることができる機会を提供しました。

集会であれば受講が難しかった遠方で開催される講演会・シンポジウムも容易に受講することができるようになり、多様な知見を習得する機会となりました。

## 令和2年度国立大学図書館協会地区協会助成事業「図書館の災害時対応に関するセミナー」

**【開催日】**令和2年12月8日(火)  
**【実施方法】**Zoomによるオンライン講義  
**【主催】**九州地区国立大学図書館協会  
**【後援】**九州地区大学図書館協議会  
**【参加申込者】**76名

国立大学図書館協会地区助成事業として、「図書館の災害時対応に関するセミナー」をオンラインで開催しました。

被災時における各職員の対応について、図上訓練の手法を学ぶことにより、災害リスクを可視化・共有する方法を取得し、各館の防災機能向上

を図ることを目的とし、一般社団法人減災ラボの鈴木光代表理事にご講演いただきました。本セミナーはオンラインで開催したことと、近年の防災に対する意識向上もあり、幅広い地区の大学図書館職員から参加がありました。受講者からは、「災害リスクの可視化を行うことの大切さ、利用者にとって安心・安全な図書館の在り方を考えさせられる良い機会となった」「オンラインでの実施のおかげで参加しやすかった」等の感想があり、大規模災害が増えている中で、他地区の職員も交えて防災・減災について考える貴重な機会となりました。

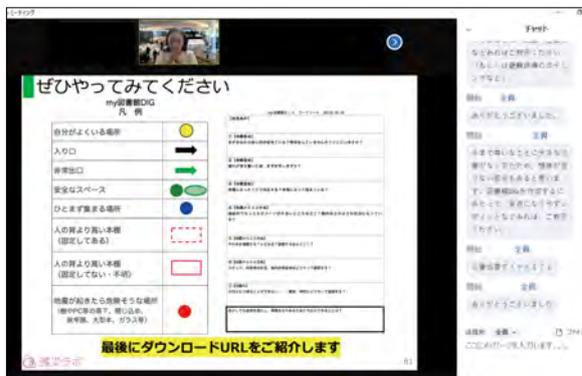


資料は下記URLで公開しています。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/materials/kenshu>



実際にワークショップで作成された my 図書館 DIG の紹介



チャットによる質疑応答

## 令和2年度初任者研修

**【開催日】**令和2年9月1日(火)～4日(金)  
**【実施方法】**Microsoft Teamsによるオンライン講義  
**【受講者】**18名  
**【プログラム】**附属図書館の概要と図書館業務の流れ  
ネットワークとセキュリティ  
センパイと話そう  
収書整理系の業務  
総務・会計系の業務  
eリソース系の業務  
学習・研究支援系の業務  
利用者サービス系の業務

新任図書系職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。令和2年度は新型コロナウイルスへの対応のため、例年より時期をずらしての開催となりました。研修はオンラインで行われ、参加のしやすさもあり、初任者以外の職員の部分受講も多く、日々の業務を俯瞰できる有意義な機会となりました。

## 統計 = 利用サービス = Statistics

令和2(2020)年度

			中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	合計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday		206	204	186	188	206	990
	土曜 Saturday		17	19	7	14	17	74
	日曜・祝日 Others		22	28	1	0	22	73
	合計 Total		245	251	194	202	245	1,137
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties		8,223	2,537	1,580	1,627	6,013	19,980
	学生 Students		69,207	27,668	8,273	6,501	57,679	169,328
	学外者 Others		304	342	74	73	104	897
	合計 Total		77,734	30,547	9,927	8,201	63,796	190,205
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties		16,651	3,133	1,661	1,423	8,901	31,769
	学生 Students		65,758	5,532	8,182	3,607	35,387	118,466
	学外者 Others		11	468	201	2	6	688
	合計 Total		82,420	9,133	10,044	5,032	44,294	150,923
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties		8,151	1,849	699	1,030	4,849	16,578
	学生 Students		31,026	3,521	3,255	2,536	19,820	60,158
	学外者 Others		6	177	78	1	4	266
	合計 Total		39,183	5,547	4,032	3,567	24,673	77,002
文献複写等件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)		2,064	4,956	36	20	710	7,786
	学外からの受付(国外) Requests(International)		85	0	0	0	0	85
	小計 Subtotal		2,149	4,956	36	20	710	7,871
	学内からの受付 Request within KU (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)		1,049	577	81	46	288	2,041
	合計 Total		3,198	5,533	117	66	998	9,912
	(うち謝絶) (cancel)		436	791	10	2	58	1,297
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)		2,779	2,043	224	121	407	5,574
	学外への依頼(国外) Received(International)		79	125	21	17	81	323
	合計 Total		2,858	2,168	245	138	488	5,897
	(うち謝絶) (cancel)		158	70	16	47	46	337
	NDL閲覧 Browse(NDL)		95	7	1	0	11	114
	NDL複写 Copies(NDL)		221	5	1	0	26	253
	合計 Total		316	12	2	0	37	365
	相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)		1,561	29	60	18	174
学外からの受付(国外) Borrows(International)			0	0	0	0	0	0
合計 Total			1,561	29	60	18	174	1,842
(うち謝絶) (cancel)			428	6	22	0	5	461
学外への依頼(国内) Loans(Domestic)			739	58	64	19	99	979
学外への依頼(国外) Loans(International)			1	0	0	0	0	1
合計 Total		740	58	64	19	99	980	
(うち謝絶) (cancel)		30	16	4	8	2	60	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties		305	20	27	284	235	871
	学生 Students		1,005	23	165	312	1,029	2,534
	学外者 Others		545	48	29	100	84	806
	合計 Total		1,855	91	221	696	1,348	4,211
	所在調査 Holdings		275	23	30	101	437	866
	事項調査 Topics		141	29	6	281	138	595
	利用指導・その他 Instructions /Others		1,439	39	185	314	773	2,750
	合計 Total		1,855	91	221	696	1,348	4,211

文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む  
NDLは、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」を示す

## 電子ジャーナルの利用(主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal packages

2020.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	357,781	Nature Site License	454,285
American Institute of Physics (AIP)	59,643	ProQuest Central	34,639
American Physical Society (APS)	33,721	Science online	63,382
Elsevier ScienceDirect Freedom Collection	1,287,466	SpringerLink	186,229
IEEE POP	15,296	Wiley Online Library	445,150
JSTOR Arts & Sciences I, II	23,919	合計 Total	2,961,511

\*利用件数にはオープンアクセス論文のダウンロードも含む

## 電子ブックの利用(主要プラットフォームの利用件数)

E-books

Number of use in major e-book platforms

2020.1.1-12.31

プラットフォーム名称 Platform	利用件数 Access	プラットフォーム名称 Platform	利用件数 Access
EBSCOhost	3,972	ProQuest Central	11,787
JapanKnowledge	180,568	ScienceDirect	6,639
Maruzen eBook Library	42,105	SpringerLink	20,216
OUP	9,981	Wiley Online Library	21,551

\*利用件数の数値は、各プラットフォームごとで基準が異なる

## 情報検索サービスの利用

Databases

2020.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
ディスカバリサービス Discovery services	九大コレクション	ディスカバリ(ローカル)	1,842,015	-
	SciFinder-n	化学	195,500	-
	Web of Science	全分野	233,618	118,421
	Scopus	全分野	168,966	-
	医中誌Web	医学(国内)	141,915	54,820
	Business Source Complete (EBSCOhost)	経済・経営学	72,722	60,062
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	71,950	29,788
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	71,721	29,229
	PsycINFO (Ovid)	心理学	2,652	823
	MEDLINE (Ovid)	医学	1,539	375
文献情報 Abstracts & index databases	EBM Reviews (Ovid)	医学	3,488	1,330
	ERIC (Ovid)	教育学	154	68
	JapanKnowledge	(国内)	252,704	22,980
	Gale Virtual Reference Library		139	455
	理科年表プレミアム	(国内)	-	221
事典類 References	化学書資料館	(国内)	-	21,857
	研究社オンライン・ディクショナリー		-	623
	聞蔵II ビジュアル for Libraries	朝日新聞など	49,190	11,084
	西日本新聞記事データベース	西日本新聞記事	2,490	-
新聞 Newspaper articles	毎日新聞社データベース「毎索」	毎日新聞記事	7,752	2,532
	ヨミダス歴史館	読売新聞など	13,251	-
	Journal Citation Reports [JCR]	インパクトファクター	17,825	7,545
	きゆうとLinQ	リンクリゾルバ	327,312	-
その他 Others	きゆうとE-Journals	電子ジャーナル集	40,758	-
	マイページ	図書館ポータル	-	258,007

## 学内配送サービスの利用(図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

令和2(2020)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	計 Total
中央図書館 Central Lib.			5,979	1,627	2,538	850	10,994
理系図書館 Science and Technology Lib.		6,404		911	979	748	9,042
医学図書館 Medical Lib.		2,246	1,107		397	224	3,974
芸術工学図書館 Design Lib.		2,829	1,036	274		152	4,291
筑紫図書館 Chikushi Lib.		1,066	768	219	154		2,207
計 Total		12,545	8,890	3,031	4,068	1,974	30,508

## 統計 = 基盤サービス = Statistics

## ■ 図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials

令和2(2020)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館 Central Library	中央図書館 Central Library	7,904	4,388	12,292	595	55	650
	人文科学研究院 Faculty of Humanities	2,333	886	3,219	1,611	179	1,790
	人間環境学研究院 Faculty of Human-Environment Studies	604	113	717	362	70	432
	法学研究院※法務学府含む Faculty of Law	1,757	863	2,620	559	249	808
	経済学研究院 Faculty of Economics	767	311	1,078	399	135	534
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	1,045	205	1,250	80	15	95
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	728	352	1,080	8	18	26
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	216	89	305	5	0	5
	共創学部 School of Interdisciplinary Science and Innovation	0	0	0	0	0	0
	小計 Central Library Total	15,354	7,207	22,561	3,619	721	4,340
医学図書館 Medical Library	医学図書館 Medical Library	462	208	670	499	74	573
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	0	69	69	46	4	50
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	0	0	0	11	13	24
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	0	0	0	8	0	8
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	0	0	0	0	0
	病院(医・歯) University Hospital	1	1	2	165	47	212
	小計 Medical Library Total	463	278	741	729	138	867
芸術工学図書館 Design Library	1,054	156	1,210	361	36	397	
筑紫図書館 Chikushi Library	筑紫図書館 Chikushi Library	402	151	553	105	6	111
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	0	3	3	11	0	11
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	6	3	9
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	0	0	0	1	0	1
	小計 Chikushi Library Total	402	154	556	123	9	132
理系図書館 Science and Technology Library	理系図書館 Science and Technology Library	2,338	266	2,604	107	17	124
	理学研究院 Faculty of Science	35	66	101	50	30	80
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	89	665	754	28	293	321
	工学研究院 Faculty of Engineering	97	163	260	104	81	185
	システム情報学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	19	0	19	27	19	46
	農学研究院 Faculty of Agriculture	416	150	566	352	247	599
	小計 Science and Technology Library Total	2,994	1,310	4,304	668	687	1,355
別府病院 Beppu Hospital	0	0	0	0	0	0	
記録資料館 Manuscript Library	228	0	228	53	0	53	
合計 Total	20,495	9,105	29,600	5,553	1,591	7,144	

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館の単位で大区分を行い、その中を部局・附属研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館の項目に計上している。

(注2) 統合新領域学府ユーザーサイエンス専攻、ライブラリーサイエンス専攻、韓国センター、留学生センター、EUセンターは、中央図書館の項目に計上している。

(注3) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリ研究所、情報基盤研究開発センターは、理系図書館の項目に計上している。

(注4) 図書受入冊数は、資産として受入された図書の冊数である。

## 資料費

Expenditures for library materials

令和2(2020)年度  
(単位:千円/thousand yen)

		図書費	雑誌・新聞費	eリソース	その他	資料費総額
		Books	Serials	Electronic resources	Others	Total
中央図書館	Central Library	177,855	69,090	620,933	5,878	873,756
医学図書館	Medical Library	16,196	10,246	23,161	0	49,602
芸術工学図書館	Design Library	10,781	3,926	200	269	15,176
筑紫図書館	Chikushi Library	10,127	4,111	139	26	14,402
理系図書館	Science and Technology Library	66,552	58,701	33,433	1,705	160,391
別府病院	Beppu Hospital	0	66	175	0	241
記録資料館	Manuscript Library	865	68	0	0	932
合計	Total	282,375	146,208	678,040	7,878	1,114,502

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上

(注2) eリソースにはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む

(注4) 情報基盤研究開発センターは理系図書館に計上

## 電子ブック・電子ジャーナル

E-Books and E-Journals

令和3年(2021)年4月1日現在

### アクセス可能な電子ブック(無料タイトル含む)

Accessible e-books(including free titles)

純タイトル数	Unique titles	411,918
--------	---------------	---------

### アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む)

Accesible e-journals(including free titles)

純タイトル数	Unique titles	130,298
--------	---------------	---------

## 契約タイトル数

Licensed e-Journals

令和3年(2021)年度

出版社等	Publisher	タイトル数	Titles	出版社等	Publisher	タイトル数	Titles
American Chemical Society (ACS)		66		KISS: 人文・社会・語文・芸術・体育雑誌		1,463	
American Institute of Physics (AIP)		11		LexisNexis: Nexis Uni		10,601	
American Physical Society (APS)		11		Lippincott Williams and Wilkins (LWW)		36	
American Society of Mechanical Engineers (ASME)		33		Medical Online Library (MOL) *		1,489	
Association for Computing Machinery: ACM Portal		1,407		OECD iLibrary		139	
Cambridge University Press		38		Oxford University Press		45	
Cell Press		11		ProQuest Central		23,734	
Chemical Society of Japan (CSJ) *		2		Science (AAAS)		3	
CNKI: 中国学術雑誌(CAJ)		4,149		Springer Nature: Nature		32	
DBpia: 人文社会系パッケージ		1,292		Springer Nature: SpringerLink		66	
EBSCOhost: Business Source Complete		3,778		Taylor & Francis		79	
EBSCOhost: EconLit with Full Text		669		UniBio Press *		5	
Elsevier ScienceDirect		2,317		University of Chicago Press		4	
IEEE: ASPP Online, POP Online		292		Wiley Online Library		1,474	
IEICE *		8		World Scientific Publishing		4	
Institute of Physics (IOP)		18		日本物理学会(JPS) *		1	
Journals@Ovid		1		その他		383	
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II		386		合計	Total	54,047	

\* 国内誌

## 蔵書数

Holdings

令和3(2021)年3月31日現在

		図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館	Central Library	1,605,249	882,547	2,487,796	27,086	10,880	37,966
医学図書館	Medical Library	137,559	174,545	312,104	2,851	7,104	9,955
芸術工学図書館	Design Library	126,715	49,874	176,589	2,059	984	3,043
筑紫図書館	Chikushi Library	66,541	70,044	136,585	480	1,088	1,568
理系図書館	Science and Technology Library	403,237	611,590	1,014,827	9,948	13,678	23,626
別府病院	Beppu Hospital	6,693	13,491	20,184	292	347	639
記録資料館	Manuscript Library	46,853	3,767	50,620	70	2	72
合計	Total	2,392,847	1,805,858	4,198,705	42,786	34,083	76,869

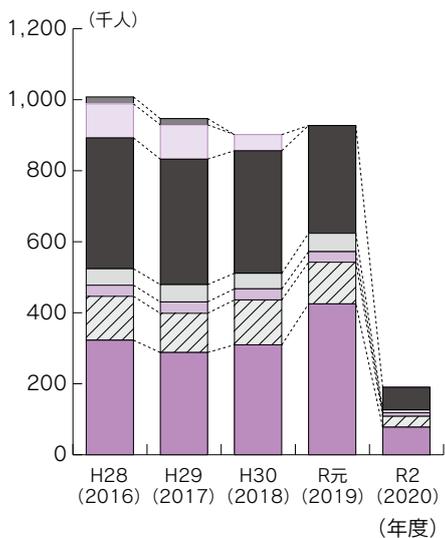
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

# 統計 = 推移と分析 = Statistics

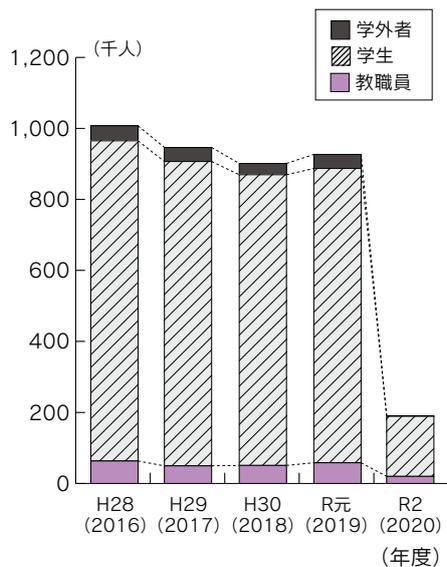
## ■ 利用サービスの推移



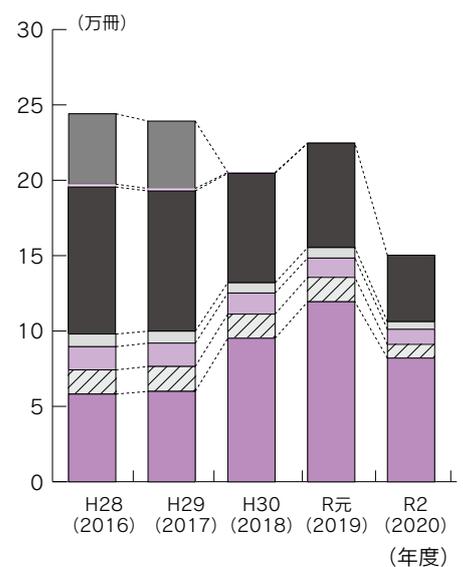
入館者数



身分別入館者数

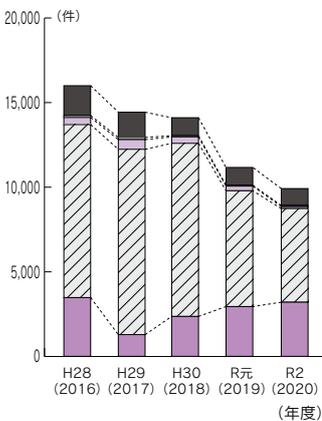


貸出冊数

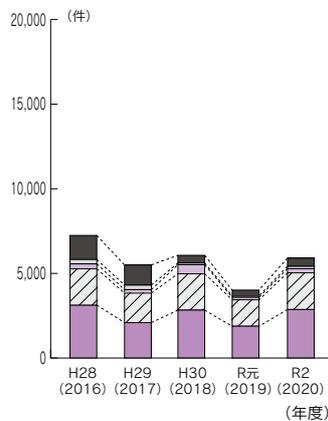


入館者数については前年比約80%減となりました。新型コロナウイルス感染症の影響によるところが大きく、福岡県に発令された1回目の緊急事態宣言に伴った約2ヶ月間の休館や、本学の行動指針の段階に合わせた開館時間の変更、オンライン授業に伴い各キャンパスを訪れる学生が減少したことが特に大きな要因と考えられます。しかし貸出冊数は前年比約33%減に留まっています。休館期間中に学部最上級生・大学院生・教員を対象に行なった郵送貸出に伴う貸出機会の確保や、一度の来館に必要な資料を普段より多めに借りていくなどの行動変容の影響などが考えられます。

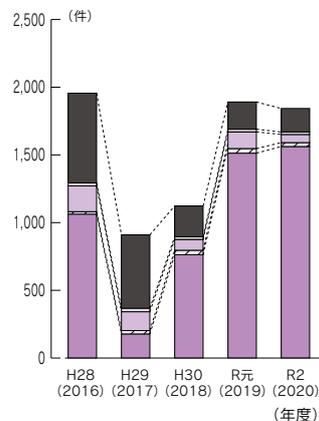
文献複写件数【受付】



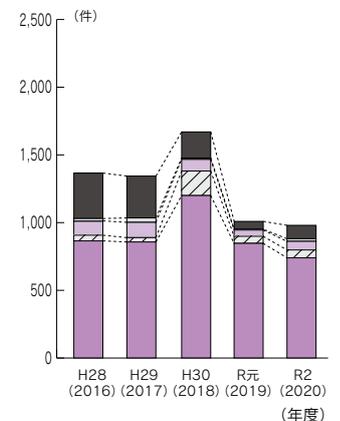
文献複写件数【依頼】



相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】

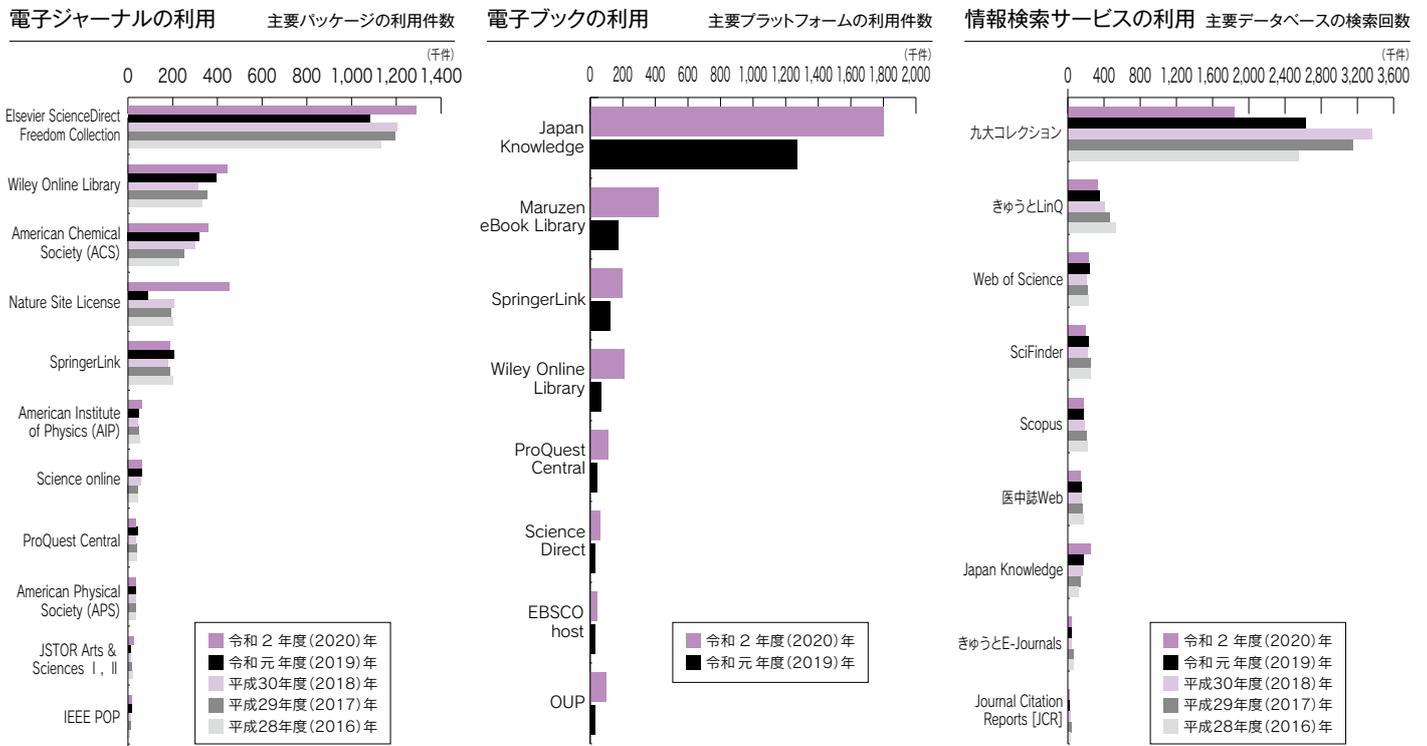


受付 (学外機関・学外個人・学内利用者への文献コピーの提供) は直近5年で減少傾向にあり、令和2年度に初めて1万件を下回りました。一方、依頼 (学外機関からの文献コピーの取寄せ) は、令和2年度も、2~3年前とほぼ同等の水準にあります。新型コロナウイルスの影響下において、令和2年に実施した論文等コピーの取り寄せにかかる費用の補助事業が、研究活動を下支えしました。

受付 (学外機関への図書の貸出) は、キャンパス移転に伴う資料移動の影響で、平成29年度には大幅に減少していましたが、平成30年9月に移転が完了し、令和元年度以降は平成28年度の水準近くまで戻っています。一方で、依頼 (学外機関からの図書の借受) について、令和元年度以降1,000件程度の比較的小ない件数に収まっています。



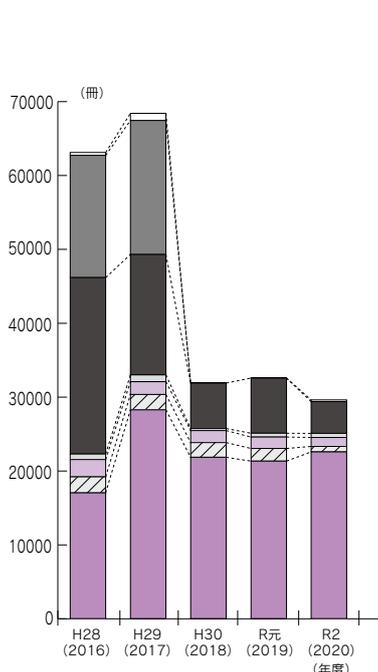
## 電子ジャーナル・電子ブック・情報検索サービスの利用の推移



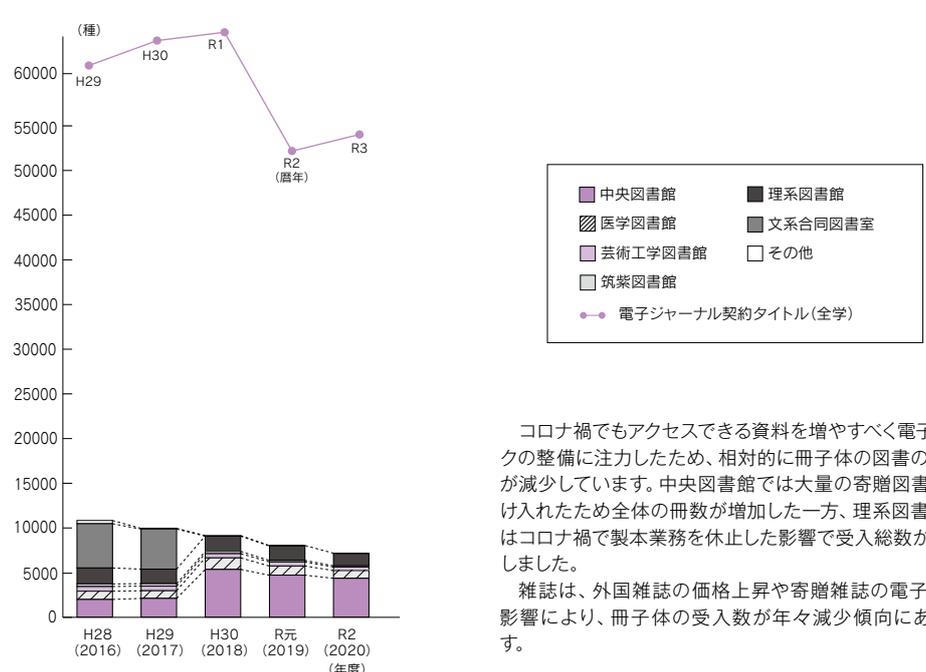
電子ジャーナルと情報検索サービスは、本学の学術研究基盤として、コロナ禍においても安定して利用され続けています。いっぽう、電子ブックについては、コロナ禍での臨時休館に伴うニーズの高まりを受け、全般的に利用件数が伸びています。

## 資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数

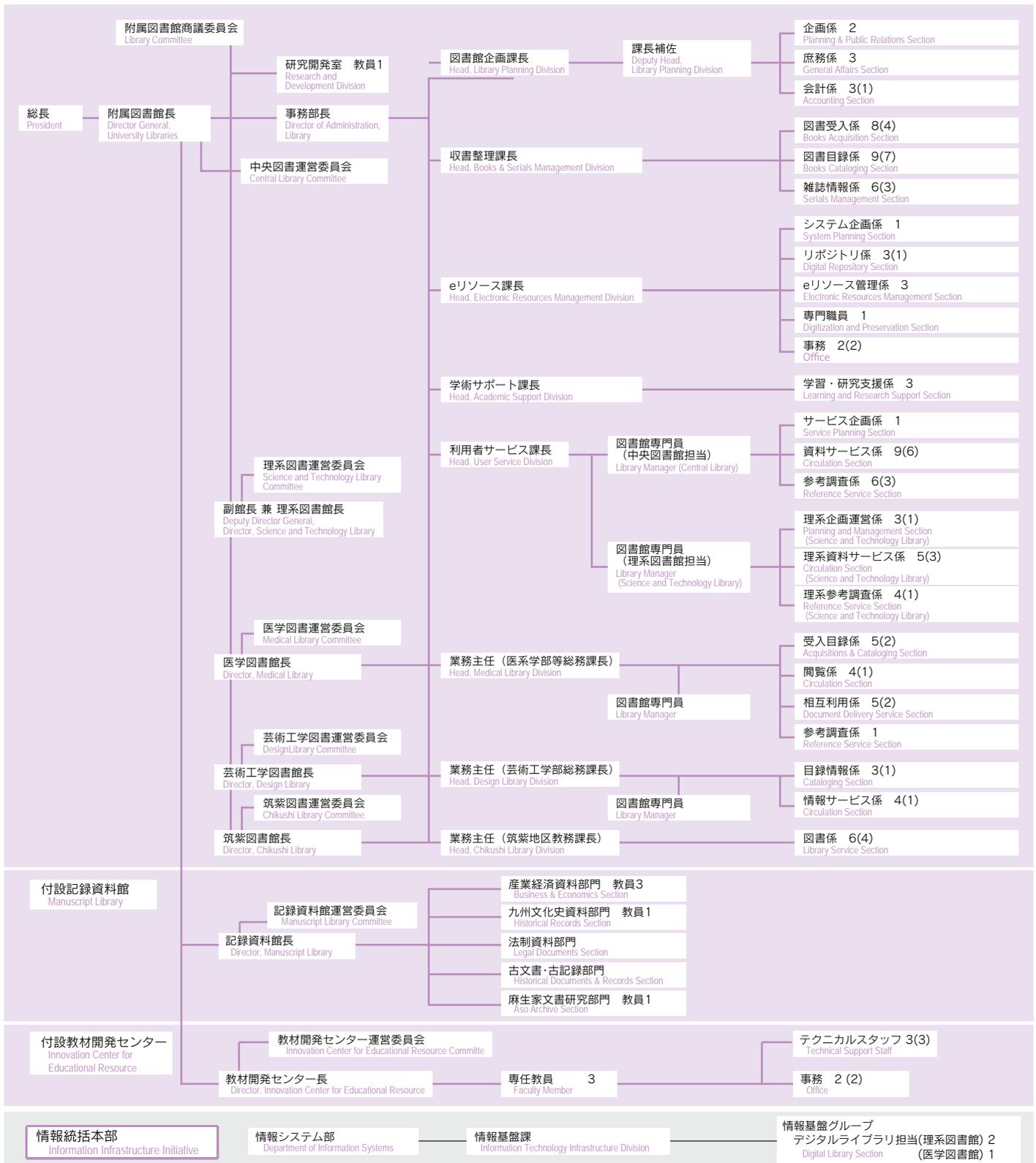


コロナ禍でもアクセスできる資料を増やすべく電子ブックの整備に注力したため、相対的に冊子体の図書の受入が減少しています。中央図書館では大量の寄贈図書を受け入れたため全体の冊数が増加した一方、理系図書館ではコロナ禍で製本業務を休止した影響で受入総数が減少しました。

雑誌は、外国雑誌の価格上昇や寄贈雑誌の電子化の影響により、冊子体の受入数が年々減少傾向にあります。

# 附属図書館の組織 Organization

(令和3年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	学術研究員	合計
教員数	2	3	0	4	1	10

※ 専任教員のみ。

区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
職員数	1	5	1	4	24	85(49)	120

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。( )内は非常勤職員で内数。



## 附属図書館長・副館長・分館長等

令和3年5月1日現在

附属図書館長	久保 智之(副学長・人文科学研究院 教授)	記録資料館長	宮本 一夫(人文科学研究院 教授)
副館長・理系図書館長	富浦 洋一(システム情報科学研究院 教授)	教材開発センター長	岡田 義広(教材開発センター 教授)
医学図書館長	住本 英樹(医学研究院 教授)	事務部長	瓜生 照久
芸術工学図書館長	古賀 徹(芸術工学研究院 教授)		
筑紫図書館長	羽田 亨(総合理工学研究院 教授)		

## 附属図書館商議委員会

令和3年5月1日現在

### ■委員長

久保 智之(附属図書館長)

### ■委員

富浦 洋一(副館長・理系図書館長)

住本 英樹(医学図書館長)

古賀 徹(芸術工学図書館長)

羽田 亨(筑紫図書館長)

宮本 一夫(記録資料館長)

岡田 義広(教材開発センター長)

小野 謙二(情報基盤研究開発センター長)

河野 俊行(留学生センター長)

岡崎 敦(人文科学研究院 教授)

施 光恒(比較社会文化研究院 教授)

藤田 雄飛(人間環境学研究院 教授)

遠藤 歩(法学研究院 教授)

深川 博史(経済学研究院 教授)

山村ひろみ(言語文化研究院 教授)

安中 雅彦(理学研究院 教授)

石井 豊(数理学研究院 教授)

笹栗 俊之(医学研究院 教授)

山座 孝義(歯学研究院 教授)

片山 勉(薬学研究院 教授)

菅井 裕一(工学研究院 教授)

前田 享史(芸術工学研究院 教授)

川邊 武俊(システム情報科学研究院 教授)

大瀧 倫卓(総合理工学研究院 教授)

磯田 宏(農学研究院 教授)

古屋 謙治(基幹教育院 教授)

馬場 健史(生体防御医学研究所 教授)

吉田 茂雄(応用力学研究所 教授)

木戸秋 悟(先導物質化学研究所 教授)

縫田 光司(マス・フォア・インタストリ研究所 教授)

瓜生 照久(附属図書館事務部長)

## 所属する図書館関係団体と九州大学の役割

### 附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館)  
 九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館)  
 九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館)  
 福岡県図書館協会 理事：館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)  
 福岡県・佐賀県大学図書館協議会 理事館(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

### 医学図書館

日本医学図書館協会(全国の医学系大学図書館および病院図書館・図書室)  
 九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系大学図書館)

## 外部委員会での職員の役割

令和2年度

- 瓜生 照久(事務部長)  
これからの学術情報システム構築検討委員会委員
- 堀 優子(eリソース課長)  
国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会委員
- 渡邊 由紀子(学術サポート課長・准教授)  
日本図書館協会図書館情報学教育部会幹事  
福岡共同公文書館運営専門協議会委員  
福岡市総合図書館運営審議会委員
- 羽賀 真記子(収書整理課図書受入係長)  
国立情報学研究所「目録システム書誌作成研修」企画ワーキンググループメンバー

- 原賀 可奈子(利用者サービス課資料サービス係長)  
西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」協力員
- 松石 健祐(eリソース課eリソース管理係長)  
大学図書館コンソーシアム連合・作業部会委員(交渉)
- 金子 芙弥(eリソース課eリソース管理係員)  
大学図書館コンソーシアム連合・作業部会委員(交渉)
- 福岡 香奈(収書整理課雑誌情報係員)  
大学図書館コンソーシアム連合・作業部会委員(調査)
- 泉 愛(医学図書館参考調査係員)  
オープンアクセスリポジトリ推進協会 コンテンツ流通促進作業部会・作業部会員

# 人事異動 Personnel Reshuffle

(令和2年4月1日~令和3年3月31日)

## 中央図書館・理系図書館

4/1	新山 明子	(研究・産学官連携推進部産学官連携推進課長補佐)	企)課長補佐
〃	才野 佳道	企)課長補佐	総務部地域連携課専門員
〃	河鍋 浩明	企)庶務係(特定有期事務職員)	企)庶務係長
〃	村上久実子	企)庶務係長	芸術工学部総務課庶務係長
〃	松石 健祐	e)e'リソース管理係長	収)雑誌情報係長
〃	別府 妙子	収)雑誌情報係長	利)理系企画運営係長
〃	原賀可奈子	利)資料サービス係長	e)e'リソース管理係長
〃	嶋田 香	利)理系企画運営係長	医)参考調査係
〃	木下 博貴	(文部科学省国際業務研修生)	利)理系参考調査係
〃	室井 万穂	e)リポジトリ係	医)受入目録係
〃	田中由紀子	収)図書目録係(職域限定職員)	(採用)
〃	高橋 啓	利)資料サービス係	(採用)
〃	篠田 繁寿	収)図書受入係	収)図書目録係
〃	工藤絵里子	利)理系参考調査係	利)資料サービス係
〃	岡留 綾子	収)図書受入係事務補佐員	収)図書目録係事務補佐員
〃	吉田 陽子	収)図書目録係事務補佐員	利)理系資料サービス係事務補佐員
〃	長野 玲奈	利)資料サービス係事務補佐員	収)図書受入係事務補佐員
〃	野口 秀子	利)理系資料サービス係事務補佐員	利)資料サービス係事務補佐員
7/1	西山由希子	(工学部等経理課用度第二係主任)	企)会計係主任
〃	三栗野雅子	企)会計係主任	病院経理課用度第一係主任
7/13	上田 麻由	企)庶務係(有期事務職員)	(採用)
8/1	大田 海	企)企画係	(自己啓発等休業)
〃	金子 美弥	e)e'リソース管理係	利)理系企画運営係
〃	秋月 和美	利)理系企画運営係	芸)情報サービス係
〃	西 ゆかり	収)図書目録係事務補佐員	(採用)
9/30	宮本 一夫	(退任)	図書館長
10/1	久保 智之	図書館長	
10/18	佐々木睦美	(育児休業)	企)庶務係
3/31	内山 英昭	(退職)	研究開発室准教授
〃	大田 海	(退職)	企)企画係
〃	田中由紀子	(退職)	収)図書目録係(職域限定職員)
〃	森谷優理子	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
〃	櫻井めぐみ	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
〃	西 美穂	(退職)	利)理系資料サービス係事務補佐員

## 医学図書館

4/1	越戸 陽子	受入目録係	福岡教育大学学術情報課
〃	詫間沙由香	相互利用係長	利)資料サービス係長
〃	泉 愛	参考調査係	e)リポジトリ係
3/31	笹栗 俊之	(退任)	医学図書館長

## 芸術工学図書館

4/1	高田 宏昭	情報サービス係長	筑)図書係長
8/1	梶原 瑠衣	情報サービス係	企)企画係
10/1	高田 宏昭	目録情報係長	芸)情報サービス係長
10/1	有田 順一	情報サービス係長	芸)目録情報係長
3/31	本園由美子	(退職)	芸)情報サービス係(特定有期事務職員)
3/31	小林 美蒔	(退職)	芸)情報サービス係事務補佐員

## 筑紫図書館

4/1	羽田 亨	筑紫図書館長	
〃	三坂 雅子	図書係長	芸)情報サービス係長
12/31	御手洗光代	(退職)	筑)図書係事務補佐員
1/1	上原 瑞恵	図書係事務補佐員	(採用)

## 教材開発センター

3/31	田中 啓太	(退職)	教材開発センターテクニカルスタッフ
------	-------	------	-------------------

## 記録資料館

8/1	平 将志	産業経済資料部門助教	(採用)
9/1	原口 大輔	麻生家文書研究部門学術研究員	(採用)

中央図書館・理系図書館	医)医学図書館
企)図書館企画課	芸)芸術工学図書館
収)収書整理課	筑)筑紫図書館
e)e'リソース課	
学)学術サポート課	
利)利用者サービス課	

# 貴重資料の 学外展示・掲載・放映 Rare-Book-Provision to the public



## 貴重書等の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
「蒙古襲来絵詞(模本) 来島文書」	中央図書館 人文科学研究院	佐賀県立博物館50周年特別展「THIS IS SAGA—2つの海が世界とつなぎ、佐賀をつくった—」(R2.9.18~11.3)	佐賀県立博物館
ヴェザリウス「人間の身体の構造」	医学図書館	特別展「美術館で身体を考える」(R2.9.29~10.25)	佐賀大学美術館
「蘆花浅水処印叢」(相見文庫) 「東洋美術大観」	中央図書館 人文科学研究院	「相見香雨没後50年記念シンポジウム」関連展示 (R2.11.20~12.20)	島根大学附属図書館
「黒田一成公略傳」(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	特別展「名刀『博多藤四郎』の輝き—戦国を生き抜いた武士の絆」(R3.1.2~2.14)	北九州市立自然史・歴史博物館
「痲瘋神五人相渡証文之事」「国字断壽論」「引痘新法全書附録」 「牛痘問答」「牛痘弁非」「牛痘小考」(以上泌尿器科教室旧蔵) 「痘疹戒草」「引痘略」(以上眼科教室旧蔵狩野本) 「内科秘録」(杏仁醫館文庫) ジェンナー「牛痘の原因及び作用に関する研究」(小川文庫)	医学図書館	特別展「秋月藩医 緒方春朔」(R3.1.23~3.14)	朝倉市秋月博物館
「ドグラ・マグラ」草稿(杉山家資料)	記録資料館(産業経済)	特別展「創刊101年記念展 永遠に『新青年』なるもの」(R3.3.20~5.16)	県立神奈川近代文学館

## 貴重書等の掲載・放映(一部)、デジタルコンテンツ活用事例

### ● 出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名
「背振山堺図」(廣瀬文庫)	中央図書館	「元禄五年(一六九二)、筑前肥前国境争論と「背振山堺図」の作成」(『西日本文化』496、2020.10)
「武備志」(西田文庫)	中央図書館	「伝えられた「日本」：地図にみる日本のすがたとその変遷」(2020年度西南学院大学博物館特別展図録、2020.12)
「源氏物語」(支子文庫)	中央図書館	「ホノルル美術館蔵「もみちの賀」解題と翻刻—リチャード・レイン旧蔵の横本「源氏物語」—」(『調査研究報告』41、2021.3)
「日本国現報善悪霊異記」(春日文庫)	中央図書館	「《口絵・解説》『文献探究』59、2021.3)
「久米平内剛力物語」(短編合巻本類)	中央図書館	「二代目市川團十郎の日記詳解 第四回(享保十九(一七三四)年四月三日~五月五日)」(『埼玉大学紀要(教養学部)』156-1、2020.9)
「乳母草子大尾十編」(旧松浦家蔵草双紙)	中央図書館	「江戸移住のすすめ」(旬報社、2021.1)
「相見香雨自筆調査録」(相見文庫)	中央図書館	「松江藩家老・乙部九郎兵衛の中国絵画コレクションと相見香雨」(『松江市歴史叢書(松江市史研究)』14、2021.2) ほか
ホップズ「レトリックの技術」(初期近代英国政治思想史コレクション)ほか	中央図書館	「想像と歴史のポリテックス」(政治理論のパラダイム転換、風行社、2020.7)
「魏武帝詩注」(濱文庫)	中央図書館	「目加田誠旧蔵一九三四年大学講義プリント：総説(一)楊樹逢蘭」(『中国文学論集』49、2020.12)
戲単・戲票(濱文庫)	中央図書館	「濱文庫戲単図録：中国芝居番付コレクション」(花書院、2021.1) ほか
「今案放註」(濱文庫)	中央図書館	「開戦前夜の日中学术交流：民国北京の大学人と日本人留学生」(九州大学出版会、2021.4)
「西法食譜」	医学図書館	「造洋飯書の研究」(関西大学出版部、2021.3)
「神武原山絵図」「神武原御開所御立被進候後垣廻地上ヶ仕調荒増之図面差上ル御山形」(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	「新修宇美町誌」(宇美町、2020.11)
「千束藩屋敷絵図」(友枝文書)	記録資料館(九州文化史)	「『城』と呼ばれなかった近世城郭—陣屋・御殿・麓—」(北部九州中近世城郭研究会、2020.12)
「(仮題)覚」(宇土細川家文書)	記録資料館(九州文化史)	「鷹狩の日本史」(勉誠出版、2021.2)

### ● TV放映

資料名	所蔵館	放送番組
「今昔画図続百鬼」(雅俗文庫)	中央図書館	「ダーウィンが来た!!」(NHK総合 2020.11.15)
「李卓吾先生批評三国志」(道進文庫)	中央図書館	「サンドウィッチマン&芦田愛菜の博士ちゃん」(テレビ朝日 2021.2.13)
「Nippon Atlas」	医学図書館	「青天を衝け」(NHK総合 2021.2.21)
「南雅堂医書全集」「陳修園医書六十種」(衛生学教室旧蔵中国古医書コレクション)	医学図書館	「知恵泉 小山肆成編」(NHK Eテレ 2021.3.16)
「彦坂元正・石河安通連署書状」(堀文書)	記録資料館(九州文化史)	「偉人たちの健康診断」(NHK BSプレミアム 2020.9.3再放送)
「秀吉公名護屋御陣之図二相添候覚書」(古賀文庫)	記録資料館(九州文化史)	「日本人のおなまえっ!!」(NHK総合 2021.1.14)

### ● デジタルコンテンツ活用事例

九大コレクションで公開している貴重資料等のデジタル化画像については、一部を除き、事前の利用申請をすることなく、無償で自由な利用を可能としています。上のリストには、そういったデジタル化画像の利用のうち、実際に使用者からご報告いただいた掲載・放映事例を含めています。

リストには挙げておりませんが、本学のデジタルコンテンツは、このほかにも多くのTV番組等で使用されています。例えば、高校入試の問題や人気ゲーム『Ghost of Tsushima』の対馬市とのコラボサイトなどにも本学所蔵の「蒙古襲来絵詞(模本)」の画像が使用されています。

貴重資料は、九大コレクションの検索結果からアクセスされる他に、WikipediaやTwitterでの紹介記事のリンクからのアクセスも多いようです。

当館のデジタルコンテンツの中で、特に利用頻度が高いのは、「蒙古襲来絵詞(模本)」、「福岡城下町・博多・近隣古図」、シーボルトの「Nippon」などですが、最近公開された中では、「小川崎鯨鯨合戦」、「福岡・博多鳥瞰図」などがよく利用されています。

# 図書館日誌

Diary

	全学・中央図書館	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	理系図書館
R 2 (2020) 4					
5	12 中央図書館図書資料選定委員会（書面回議）			22 第1回筑紫図書館運営委員会（書面回議）	
6	12 第3回ジャーナル検討タスクフォース 25 第4回ジャーナル検討タスクフォース	24 外国雑誌センター館会議（書面会議） 26 第91回日本医学図書館協会総会			
7	14 第5回ジャーナル検討タスクフォース 30 オンラインオープンキャンパス「動画でめぐる！九大図書館ってこんなところ！」公開（～3月31日）	31 第1回医学図書館運営委員会（書面回議）		17 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会（書面回議）	9 第1回中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議 27 第1回理系図書館運営委員会（書面回議）
8	20 第1回中央図書館図書資料選定委員会 24 第1回図書資料選定委員会大型図書資料専門部会（書面回議）	21 第2回医学図書館運営委員会（リモート会議）			
9	1 Kyushu University Asia Week 2020 特別展示（電子）「九州大学のコレクション ―大学創設期のアジア学術交流と古地図」（～11日）	18 第3回医学図書館運営委員会（書面回議）	24 第1回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）		
10	20 第2回図書資料選定委員会大型図書資料専門部会	1 第4回医学図書館運営委員会（書面回議） 19 第68回九州地区医学図書館協議会総会（書面会議）			
11	4 第6回ジャーナル検討タスクフォース 20 第2回図書資料選定委員会大型図書資料専門部会 24 電子展示「江戸の騎人たち―中野三敏名誉教授没後一周年記念展示―」（～3月31日）	16 第5回医学図書館運営委員会（書面回議） 24 第28回九州地区医学図書館員セミナー	19 第2回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）		12 第1回理系図書館学生用図書選定委員会（書面回議）
12	4 第7回ジャーナル検討タスクフォース 7 中央図書館運営委員会（書面回議） 18 第8回ジャーナル検討タスクフォース	15 第6回医学図書館運営委員会（リモート会議） 18 第1回九州大学附属図書館医学図書館長候補者選定委員会（書面会議）	18 第3回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）		
R 3 (2021) 1	12 留学生センター主催 Kyushu University Global Peace Symposium 関連書籍展示（～23日） 14 留学生センター主催 Kyushu University Global Peace Symposium 関連企画「折り紙教室」 26 第9回ジャーナル検討タスクフォース	29 第7回医学図書館運営委員会（書面回議）			
2	9 中央図書館図書資料選定委員会（書面回議） 12 第10回ジャーナル検討タスクフォース	8 第2回九州大学附属図書館医学図書館長候補者選定委員会（リモート会議） 25 第8回医学図書館運営委員会（書面回議）		1 第2回筑紫図書館運営委員会（書面回議）	
3	2 第11回ジャーナル検討タスクフォース 21 中村哲医師メモリアルアーカイブオープンイベント	12 第9回医学図書館運営委員会（書面回議）	12 第4回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）		12 第2回理系図書館運営委員会（書面回議）

記録資料館	教材開発センター	全学会議	関係団体会議等への出席
	17 オンライン授業に向けた著作権講習 20 オンライン授業に向けた著作権講習		23 第50回九州地区国立大学図書館協会総会（書面回議） 24 第71回九州地区大学図書館協議会総会（書面回議）
			15 国立大学図書館協会春季理事会（web会議） 25 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会（書面回議）
17 第42回記録資料館運営委員会	5 第1回教材開発センター運営委員会	17 第230回附属図書館商議委員会	19-29 国立大学図書館協会総会（オンライン投票方式）
3 記録資料館運営委員会（書面回議） 12 記録資料館運営委員会（書面回議）			
	24 M2B講習会（オンライン開催）〈主催：基幹教育院〉		
			9 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議（web会議）
			9 国立大学図書館協会秋季理事会（web会議） 6-13 2020（令和2）年度福岡地区研究会（メール配信方式）
22 第43回記録資料館運営委員会	25 FD 電子教材著作権講習会（オンライン開催） 25 FD 電子教材開発者向け講習会（オンライン開催）	11 館長会議 11 第231回附属図書館商議委員会	4 国立七大学附属図書館協議会（web会議） 14 九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議（web会議）
	13 JMOOC 講座「気候変動と大気汚染の入門」（～2/10）		
15 第44回記録資料館運営委員会	19 第2回教材開発センター運営委員会（書面回議）		
	25 M2B講習会（オンライン開催）〈主催：基幹教育院〉		

令和3(2021)年7月発行

編集発行 九州大学附属図書館  
〒819-0395 福岡市西区元岡744  
TEL(092)802-2471 (図書館企画課企画係)

製作 城島印刷株式会社

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp>



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY



九州大学附属図書館  
Kyushu University Library